

2025 年度（令和 7 年度）

事業報告書

学校法人 倉橋学園

四日市情報外語専門学校

Yokkaichi College of Information&Languages

1. 教育基本方針

校訓 「知・心・技」

本学は開学以来掲げている、校訓「知・心・技」を全学生に説き、知識と技能の習得だけでなく利己を超えて、他人のため世のために役立つ心を大切にする、個性ある立派な人間として自己を磨き上げることを主とする教育指導を行う。

2. 教育の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、国際化・情報化の現代社会に的確に対応できるよう専門の知識技術を授けるとともに、一般教養を高めるよう指導し、社会有用の人材を養成することを目的とする。

3. 令和7年度事業内容（本校の過程・学科・修業年限・開講科目）

【課程名】
ビジネス専門課程

【学科名】
情報実務学科

【就業年限】
2年制 4月期入学

【定員】
入学定員 120名・総定員 240名

【取得資格】
専門士（Diploma）

【設置コース】

- コンピュータ技術者コース（令和8年度入学生より「IT・ビジネスコース」へ改称）
- ホテル・ブライダルコース

- 英語スペシャリストコース
※希望者無しのため令和7年度未開講。

【授業内容】

● 共通科目

（PCスキル）

- ・ Windows 基礎 ・ アプリケーション基礎（Word/Excel/PowerPoint）
- ・ 情報リテラシー 等

（日本語分野）

- ・ 文字 ・ 語彙 ・ 文法 ・ 読解 ・ 日本事情理解
- ・ 日本文化 ・ 日本語試験対策講座（JLPT 対策講座） 等

（ビジネス分野）

- ・ ビジネスマナー ・ 一般常識講座 ・ キャリア講座
- ・ マーケティング ・ 経済 ・ 簿記 等

● 専攻科目

（コンピュータ技術者コース）

- ・ Word ・ EXCEL ・ PowerPoint ・ 情報リテラシー ・ 最新 IT 技術動向
- ・ オフィス実務 ・ ネットワーク ・ プログラミング 等
- (ホテル・ブライダルコース)
- ・ レストランサービス ・ バンケットオペレーション ・ フロントオフィス
- ・ ブライダル実務 ・ ホテル総論 等

4. 年間実施行事

- 4 月 入学式 (8 日)・新入生オリエンテーション (9・10 日) 前期授業開始 (14 日～)
- 5 月 全生徒・職員健康診断 (1・2 日)
- 6 月 企業説明会実施 (株式会社ベジコープ・4 日)
- 7 月 ホテルコース就職インターンシップ (7/24～31)
特別集中講義開講 (7～11 日・最終日はテスト) 夏休み (12 日～翌月 17 日)
- 8 月 企業説明会実施 (株式会社 K-LINE・5 日)
- 9 月 前期授業終了 (～5 日) 前期定期試験 (8 日～12 日) 前期再試験 (30 日)
前期補習・補講実施 (25 日～翌月 10 日まで)
- 10 月 後期授業開始 (12 日～) 博物館・プラネタリウム見学 (17 日)
- 11 月 企業説明会実施 (ユニテックキャリアサポート株式会社・7 日)
- 12 月 学内就職セミナー実施 (1 年生:11 日・12 日)
学年遠足: リトルワールド探索授業 (23 日) 冬休み (23 日～翌月 4 日)
- 1 月 学内就職・ライフデザインセミナー実施 (2 年生:5 日～9 日)
- 2 月 後期授業終了 (～10 日) 後期定期試験 (12 日～18 日)
- 3 月 後期再試験実施 (6 日) 卒業式 (19 日) 春休み (7 日～翌月 12 日)
後期補習・補講実施 (2 日～翌月 12 日)

5. 生徒数推移と構成・生徒募集実績

●令和 7 年度生徒数推移 (R6.4.1: 期初～R7.3.31 期末)

1 年生	出身国	R7.4.1 (期初)	構成比	R8.3.31 (期末)	構成比	差異 (人)
コンピュータ 技術者 コース	ネパール	60	57%	59	57%	-1
	スリランカ	19	18%	17	17%	-2
	ベトナム	5	5%	5	5%	0
	バングラディッシュ	2	2%	2	2%	0
	合計	86	81%	83	81%	-3
ホテル コース	ネパール	18	17%	18	17%	0
	スリランカ	1	1%	1	1%	0
	ミャンマー	1	1%	1	1%	0

	合計	20	19%	20	19%	0
1 年生合計		106	100%	103	100%	-3

2 年生	出身国	R7.4.1 (期初)	構成比	R8.3.31 (期末)	構成比	差異 (人)
コンピュータ 技術者 コース	ネパール	80	67%	79	67%	-1
	スリランカ	12	10%	10	9%	-2
	ベトナム	1	1%	1	1%	0
	パングラディッシュ	2	2%	2	2%	0
	合計	95	79%	92	80%	-3
ホテル コース	ネパール	24	20%	22	19%	-2
	ベトナム	1	1%	1	1%	0
	合計	25	21%	23	20%	-2
2 年生合計		120	100%	115	100%	-5

●期中退学者等内訳 (8 名)

- ・結婚等にて留学ビザから家族ビザへ変更し退学 1 名
- ・母国へ帰国 (病気療養・自国で起業等) 5 名
- ・進路変更にて他校へ (自動車関連専門学校) 1 名
- ・結婚し他国移住へ 1 名

令和 7 年度に関しては、本校学生は全て外国籍の外国人留学生。本年卒業を迎えた 2 年生は新型コロナウイルスの世界的な流行に伴う出国の規制や自粛の影響を受け、本来の予定よりも来日のタイミングを待たされた学生が多く、学生数も多かった。

退学者等に関しては、令和 6 年度は 144 名の期初生徒数に対し、期末までに 11 名 (7.6%) が本学を離れたが、令和 7 年度は期初生徒数 226 名に対し、期末までに 8 名 (3.5%) と、期中で本学を離れてゆく生徒は減少傾向にある。

●令和 7 年度生徒募集施策とオープンキャンパス・説明会・全国入試の充実化

令和 7 年度も、年間を通じて全国の日本語学校等を訪問し、各学校の先生方と顔が見えたお付き合いの中で対話を重ね、それぞれの留学生の事情に鑑みて、手厚い入学相談を繰り返して行ってきた。

オープンキャンパスは令和 6 年度の 7 日間/計 12 回開催より回数を増やし、8 日間/計 15 回を開催した。これまで行って来なかった 5 月より開催するように早め、早期接触にアプローチをかけた。参加人数は前年度の 106 名より増加し 140 名となる。

また、遠隔地からの希望者、又、当方からのアプローチにより、オンラインでの相談会も積極的に開催し、参加人数は前年度 37 名より増加し 76 名となる。全国の希望者や日本語学校の先生方もオンラインを通じて多数参加していただいた。

前年度の令和 6 年度より実験的に先行実施していた「オープンキャンパス参加特典・受験料割引制度」も定着をしつつあり、令和 7 年度では本制度を利用し受験したものが 95 名と学生に拡がってきている。さらに、遠隔地の留学生に対応するため、全国各地に出向き、出張形態での入試の実施も前年度に続き継続して行い入試実施の回数を増加させ、留学生の負担軽減、入学間口拡大を図った。

本学留学生の出身国構成としては、令和 6 年度入学生は入学時、ネパール人留学生が全体の 87% と高い割合となっていたが、令和 7 年度留学生では、その割合は 74% と、ネパール人留学生の割合が引き続き高いものの、その構成比は減少傾向にある。一方、令和 6 年度入学生において、全体の 10% だったスリランカ人留学生は、令和 7 年度において、全体の 19% とほぼ倍増をしている。学生募集において、スリランカ人留学生やベトナム人留学生など他国の留学生に強い日本語学校等と積極的に連携を行うことで、各国事情や情報収集に努めている。また、在籍生や卒業生からの紹介制度を強化し、在校生、卒業生に繰り返し訴求し、留学生のネットワークの活用も行い間口を広げた。

6. 職員構成

区 分	職 名	R7 年度実績	R8 年度体制
正規職員	学校長	1	1
	教 員	4	4
	学校事務	2	2
非正規職員	教 員	16	16
計		23	23

※出向者 2 名を含む

7. 就職先一覧

●卒業生内訳（令和 8 年 5 月末現在）

・ IT・コンピュータ技術者コース	92 名
・ ホテル・ブライダルコース	23 名
計	115 名

・ 就職者	56 名
・ 進学者	38 名
・ 特定活動申請	7 名
・ 家族ビザ変更	14 名

●令和 7 年度 就職先一覧

<IT・コンピュータ技術者コース>

- ・ 株式会社 BREXA technology (IT)
- ・ アスパーク株式会社 (IT)

- ・ JM エンジニアリングサービス株式会社（半導体製造）
- ・ 株式会社 エスプール（サイバーセキュリティ関連部門）
- ・ 株式会社 恵記商行（中国食品販売・貿易事務）
- ・ ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社へ2名（運輸・荷物仕訳）（総合事務）
- ・ AURA HOLDINGS 株式会社（清掃・自動車輸出・ホテル運営（スリランカ）等/総合職）
- ・ 荘川高原カントリークラブ（ゴルフ）事務
- ・ 北勢ダイキャスト工業株式会社（製造業）
- ・ 芙蓉工業株式会社（金属加工）
- ・ アイコー株式会社（金属加工・めっき処理）
- ・ 株式会社 メディックス（製造業：基板実装：事務）
- ・ 株式会社いとめん本店へ2名（製造業：製麺）
- ・ ジェス株式会社（製造業）
- ・ 株式会社 TAKISADA TECHNICAL SUCCESSOR（アパレル製造・物流）
- ・ 東海乳業株式会社（乳製品製造）
- ・ 株式会社ニュースインターコム（飲食業：BBQ レストラン yummy の FC）
- ・ 株式会社ミユキコーポレーション（外食：大戸屋四日市笹川店勤務予定）
- ・ 株式会社ミユキコーポレーション（外食：大戸屋津山の手店勤務予定）
- ・ 松坂牛たん 四日市店（飲食業）
- ・ 株式会社 いま津（飲食業）
- ・ Y.W.C 株式会社（人材サービス：ファミリーマート名古屋ビルディング店に派遣）
- ・ 有限会社アイチサービス（鍵販売・ロックサービス）
- ・ 株式会社 丸友青果（青果卸売）
- ・ 丸十青果 株式会社（青果仲卸業）
- ・ 株式会社ポラリス 物流センター（物流）
- ・ COLOR-RING 株式会社（運送・倉庫・内職加工・引越等）
- ・ ナカノ管材株式会社へ3名（住宅設備）
- ・ 長谷電工株式会社（電気工事）
- ・ 株式会社アイシステム（太陽光発電販売・施工）
- ・ 株式会社 E.F.G（警備業）
- ・ 株式会社ファインド（人材紹介・派遣）※クラ・ゼミグループ
- ・ 株式会社 VEGECOOP（派遣：携帯電話販売）
- ・ Y.W.C 株式会社（派遣）（携帯ショップ：AU に派遣予定）
- ・ 株式会社 栃木運用（派遣）へ4名
- ・ JSL 株式会社（派遣）土岐の工場に派遣予定
- ・ CareEarth 株式会社（人材派遣業）
- ・ Happy Job 株式会社（人材派遣業）
- ・ エンズリンク株式会社（人材派遣業）
- ・ 株式会社 TierOne（清掃業）

<ホテル・ブライダルコース>

- ・ 都ホテル&リゾート 志摩リゾートベイサイドテラス

- ・株式会社鹿の湯ホテル （湯の山温泉）
- ・高山グリーンホテル
- ・湯の山温泉 寿亭
- ・湯の山温泉グリーンホテル
- ・ホテルクラウンパレス知立
- ・名古屋クラウンホテル
- ・株式会社リオ・ホテルズ Hotel 津 Center Palace
- ・株式会社ステイクローズ アイリスホテル愛知に派遣 ホテル管内業務全般

●令和7年度 進学先一覧（両コース）

- ・鈴鹿大学国際地域学部 19名（3名は3年生編入合格）
- ・中京学院大学 経営学部経営学科 2名
- ・名古屋産業大学 1名
- ・名古屋経営短期大学別科 7名
- ・中日本自動車短期大学 自動車工学科 1名
- ・コロンビアファッションカレッジ 研究科 2名
- ・桑名文化専門学校 2名
- ・日本商科学院専門学校 3名
- ・桑名文化専門学校 1名

一般的に留学生の就職率は40%台と言われる中、本学においては近年約90%前後の就職率を保っている。しかしながら、この令和7年度卒業生に関しては、学生の就職への行動意識の低下が顕著にあり、現行の就職指導や就職関連カリキュラムに加えて、外部機関を招いた特別授業の実施、学内での会社説明会の実施、外部説明会の参加などにより学生の就職への意識全般を高めていく施策をとった。卒業年次の4月より就職に関する行動を促していったが、学生の行動が遅く、就職活動自体をしたくないと思っている学生もあり、最終的に卒業前の冬に入り進路を進学に切り替えた者が何名かみられた。

令和7年度からの新たな施策として、厚生労働省主幹事業の「キャリア形成・リスキリング支援センター」と連携。1年生には「日本ではたらくこと」と題し、翌年度の就職活動に先駆けて、日本での留学生の就職活動の現状、その方法、ルールなどを特別授業で全クラス2日間に分けて実施した。結果的にその生徒達が現在2年生になり、令和7年度より早い就職活動の動きにつながり、外部からの声掛けは学生の就職活動への意識改革の大きな一助になり得ている。同センターの特別授業は2年生も実施し、卒業前に4日間にわたって行った。日本の企業や学校など、この先生きてゆく中で、必要な社会マナーやルール、そして自分自身の特質を知り、これから先の長い人生に向けてのライフデザイン設計に関わる特別授業を行った。

また令和6年度からの連携として、グループ内の関連会社との連携があり、7年度卒業生からは、クラ・ゼミグループに新入社員として1名の生徒を輩出した。本生徒は今後、特定技能人材の採用や教育、相談、調整や申請などを行い、ネパールと日本の架け橋として活躍

をしていく予定である。今後もグループ連携から、就職アドバイス、マッチングなどを行い、引き続き積極的に連携し学生の就職意欲の向上や選択肢の広がりを図っていく。

8. 施設補修・契約変更等

●四日市情報外語専門学校 校舎新築工事（令和7年度理事会付議事項）

生川建設株式会社と建築設計・管理委託業務契約を締結（2月）

本格的な協議に着手する。2週に1回のペースで基本設計の打合せを実施中。

令和8年の5月を以ておおよその基本設計が完了。

令和8年 6月～9月 実施設計予定

 9月～12月 確認審査

 12月～翌9月 着工～完成引渡し/現本校解約交渉

令和10年 3月 現本校原状回復工事

 引渡し時より、順次移転を進め、令和10年より本格稼働予定。